

各機関の迅速測定結果（令和 7 年 4 月 28 日現在）

【最新状況】（土・日・祝日公表分は原則として翌営業日に更新、下線は更新箇所）

■ 東京電力

詳しくは[こちら](#)（東京電力 トリチウムの迅速測定の分析結果）

【海水】

【発電所から 3 km以内】

4 月 27 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 4 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（6.3～7.6 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

■ 環境省

詳しくは[こちら](#)（環境省ホームページ）

【海水】

4 月 17 日に福島県沿岸の 3 測点にて採取した海水試料を分析（迅速測定）した結果、すべての測点において、海水のトリチウム濃度は検出下限値未満（8 ベクレル/リットル未満）であり、人や環境への影響がないことを確認しました。（環境省）

■ 水産庁

詳しくは[こちら](#)（水産庁ホームページ）

【水産物】

4 月 25 日に ALPS 処理水放出口の北側約 4km で採取されたヒラメ及び同放出口の南側約 5km で採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（7.8 ベクレル/kg 未満）であることを確認しました。（水産庁）

■ 福島県

詳しくは[こちら](#)（福島県ホームページ）

【海水】

4 月 22 日（火）採水：全 9 測点で検出下限値未満（3.8～4.2Bq/L 未満）であり、人や環境への影響がないレベルであることを確認しました。（福島県）

<参考>

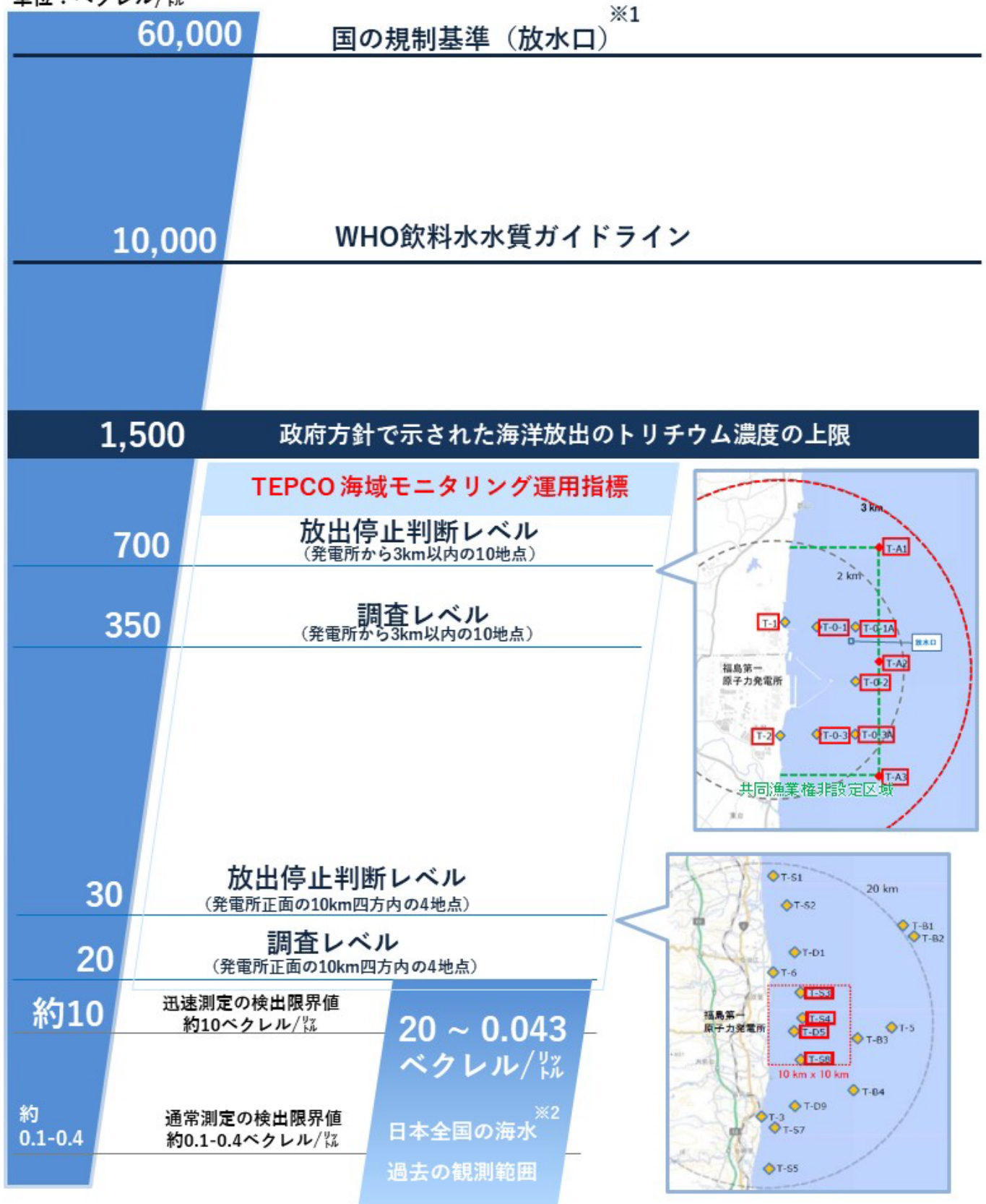
放出前の福島県沖の海水中トリチウム濃度は 0.1～1 ベクレル/リットル程度

WHO 飲料水ガイドライン 10,000 ベクレル/リットル

○本資料は、各機関・当社が実施した海域モニタリング（迅速測定）の結果を、各機関の公表内容をもとにとりまとめたものです。各機関の測定結果に関するお問い合わせは、各機関にお願いいたします。

【参考】海水のトリチウム濃度の比較

単位：ベクレル/ℓ



※1：原子力施設の放水口から出る水を、毎日、その濃度で約2ℓ飲み続けた場合、一年間で1ミリシーベルトの被ばくとなる濃度から定められた基準
 ※2：出典『日本の環境放射能と放射線』（期間：2019/4～2022/3）

各機関における過去の迅速測定結果

<ページ内リンク：各機関における当四半期データの先頭へ>

[東京電力](#)

[環境省](#)

[水産庁](#)

[福島県](#)

東京電力の迅速測定結果（各四半期をクリック）

[2025 年度第 1 四半期（ページ内リンク）](#)

[2024 年度第 4 四半期（PDF）](#)

[2024 年度第 3 四半期（PDF）](#)

[2024 年度第 2 四半期（PDF）](#)

[2024 年度第 1 四半期（PDF）](#)

[2023 年度第 4 四半期（PDF）](#)

[2023 年度第 3 四半期（PDF）](#)

[2023 年度第 2 四半期（PDF）](#)

環境省の迅速測定結果（各四半期をクリック）

[2025 年度第 1 四半期（ページ内リンク）](#)

[2024 年度第 4 四半期（PDF）](#)

[2024 年度第 3 四半期（PDF）](#)

[2024 年度第 2 四半期（PDF）](#)

[2024 年度第 1 四半期（PDF）](#)

[2023 年度第 4 四半期（PDF）](#)

[2023 年度第 3 四半期（PDF）](#)

[2023 年度第 2 四半期（PDF）](#)

水産庁の迅速測定結果（各四半期をクリック）

[2025 年度第 1 四半期（ページ内リンク）](#)

[2024 年度第 4 四半期（PDF）](#)

[2024 年度第 3 四半期（PDF）](#)

[2024 年度第 2 四半期（PDF）](#)

[2024 年度第 1 四半期（PDF）](#)

[2023 年度第 4 四半期（PDF）](#)

[2023 年度第 3 四半期（PDF）](#)

[2023 年度第 2 四半期（PDF）](#)

福島県の迅速測定結果（各四半期をクリック）

[2025 年度第 1 四半期（ページ内リンク）](#)

[2024 年度第 4 四半期（PDF）](#)

[2024 年度第 3 四半期（PDF）](#)

[2024 年度第 2 四半期（PDF）](#)

[2024 年度第 1 四半期（PDF）](#)

[2023 年度第 4 四半期（PDF）](#)

[2023 年度第 3 四半期（PDF）](#)

[2023 年度第 2 四半期（PDF）](#)

<（リンク）処理水ポータルサイト：放出実績はこちら>

東京電力の迅速測定結果（2025 年度第 1 四半期）

[これ以前の四半期毎の過去データはこちら](#)

【海水】

<4 月 28 日公表>

【発電所から 3 km以内】

4 月 27 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 4 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（6.3～7.6 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4 月 27 日公表>

【発電所から 3 km以内】

4 月 26 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 4 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（6.1～6.3 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4 月 26 日公表>

【発電所から 3 km以内】

4 月 25 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 4 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は、放水口から約 600m の地点（T-0-1）において 8.5 ベクレル/リットル、放水口から約 600m の地点（T-0-2）において 9.8 ベクレル/リットル、放水口から約 500m の地点（T-A2）において 23 ベクレル/リットル、その他の地点において検出下限値未満（5.3 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

【発電所正面の 10km 四方内】

4 月 24 日に福島第一原子力発電所正面の 10km 四方内 2 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、どちらの地点においてもトリチウム濃度は検出下限値未満（6.2 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4 月 25 日公表>

【発電所から 3 km以内】

4 月 24 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 10 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った

結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（6.3～7.6 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4 月 23 日公表>

【発電所から 3 km以内】

4 月 22 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 4 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（6.3～7.1 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4 月 22 日公表>

【発電所から 3 km以内】

4 月 21 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 10 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は、放水口から約 600m の地点（T-0-2）において 17 ベクレル/リットル、その他の地点において検出下限値未満（5.4～8.5 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

【発電所正面の 10km 四方内】

4 月 21 日に福島第一原子力発電所正面の 10km 四方内 1 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は検出下限値未満（5.9 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4 月 20 日公表>

【発電所から 3 km以内】

4 月 19 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 4 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は、放水口から約 500m の地点（T-A2）において 6.3 ベクレル/リットル、その他の地点において検出下限値未満（5.7～5.9 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4 月 19 日公表>

【発電所から 3 km以内】

4 月 18 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 4 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は、放水口から約 500m の地点（T-A2）において 20 ベクレル/リットル、その他の地点において検

出下限値未満（7.7～8.8 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

【発電所正面の 10km 四方内】

4 月 17 日に福島第一原子力発電所正面の 10km 四方内 3 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（7.0 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4 月 18 日公表>

【発電所から 3 km以内】

4 月 17 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 10 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（7.1～8.0 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4 月 17 日公表>

【発電所から 3 km以内】

4 月 16 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 8 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（6.8～7.7 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

【発電所正面の 10km 四方内】

4 月 16 日に福島第一原子力発電所正面の 10km 四方内 1 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は検出下限値未満（7.2 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4 月 15 日公表>

【発電所から 3 km以内】

4 月 14 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 2 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、どちらの地点においてもトリチウム濃度は検出下限値未満（8.5 および 8.6 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

※4月14日は、海象の影響をふまえ、調査船の出航を中止し、陸側から試料採取できる2地点で試料採取を実施しました。

<4月14日公表>

【発電所から3km以内】

4月13日に福島第一原子力発電所から3km以内4地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は、放水口からもっとも近い地点（T-0-1A：放水口から約200mの地点）において27ベクレル/リットル、放水口から約500mの地点（T-A2）において12ベクレル/リットル、その他の地点において検出下限値未満（7.2ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である700ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や350ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4月13日公表>

【発電所から3km以内】

4月12日に福島第一原子力発電所から3km以内4地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は、放水口から約600mの地点（T-0-2）において12ベクレル/リットル、その他の地点において検出下限値未満（5.3～6.0ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である700ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や350ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4月12日公表>

【発電所から3km以内】

4月11日に福島第一原子力発電所から3km以内4地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（5.0～7.5ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である700ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や350ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4月11日公表>

【発電所から3km以内】

4月10日に福島第一原子力発電所から3km以内10地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（6.4～8.7ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である700ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や350ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4月8日公表>

【発電所から3km以内】

4月7日に福島第一原子力発電所から3km以内10地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（6.2～7.3 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

【発電所正面の10km四方内】

4月7日に福島第一原子力発電所正面の10km四方内1地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は検出下限値未満（7.3 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4月7日公表>

【発電所から3 km以内】

4月6日に福島第一原子力発電所から3km以内4地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、どちらの地点においてもトリチウム濃度は検出下限値未満（5.7 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4月6日公表>

【発電所から3 km以内】

4月5日に福島第一原子力発電所から3km以内8地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（6.8～8.2 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4月5日公表>

【発電所から3 km以内】

4月4日に福島第一原子力発電所から3km以内2地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、どちらの地点においてもトリチウム濃度は検出下限値未満（5.6 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

※4月4日は、海象の影響をふまえ、調査船の出航を中止し、陸側から試料採取できる2地点で試料採取を実施しました。

<4月4日公表>

【発電所から 3 km以内】

4 月 3 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 2 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、どちらの地点においてもトリチウム濃度は検出下限値未満（6.1 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

※4 月 3 日は、海象の影響をふまえ、調査船の出航を中止し、陸側から試料採取できる 2 地点で試料採取を実施しました。

<4 月 2 日公表>

【発電所から 3 km以内】

4 月 1 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 4 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（7.9～8.0 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<4 月 1 日公表>

【発電所から 3 km以内】

3 月 31 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 10 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（6.1～8.0 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

【発電所正面の 10km 四方内】

3 月 31 日に福島第一原子力発電所正面の 10km 四方内 1 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は検出下限値未満（7.2 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

以上

[（東京電力）2025 年度第 1 四半期の先頭へ](#)

[各機関における過去の迅速測定結果の先頭へ](#)

[本文書の先頭へ](#)

環境省の迅速測定結果（2025 年度第 1 四半期）

[これ以前の四半期毎の過去データはこちら](#)

【海水】

＜4 月 24 日公表＞

4 月 17 日に福島県沿岸の 3 測点にて採取した海水試料を分析（迅速測定）した結果、すべての測点において、海水のトリチウム濃度は検出下限値未満（8 ベクレル/リットル未満）であり、人や環境への影響がないことを確認しました。（環境省）

＜4 月 1 日公表＞

3 月 24 日及び 25 日に福島県沿岸の 6 測点及び宮城県沿岸の 1 測点にて採取した海水試料を分析（迅速測定）した結果、すべての測点において、海水のトリチウム濃度は検出下限値未満（8 ～ 9 ベクレル/リットル未満）であり、人や環境への影響がないことを確認しました。（環境省）

以上

[（環境省）2025 年度第 1 四半期の先頭へ](#)

[各機関における過去の迅速測定結果の先頭へ](#)

[本文書の先頭へ](#)

水産庁の迅速測定結果（2025 年度第 1 四半期）

[これ以前の四半期毎の過去データはこちら](#)

【水産物】

<4 月 28 日公表>

4 月 25 日に ALPS 処理水放出口の北側約 4km で採取されたヒラメ及び同放出口の南側約 5km で採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（7.8 ベクレル/kg 未満）であることを確認しました。

（水産庁）

<4 月 25 日公表>

4 月 24 日に ALPS 処理水放出口の北側約 4km で採取されたヒラメ及び同放出口の南側約 5km で採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（8.0 ベクレル/kg 未満）であることを確認しました。

（水産庁）

<4 月 24 日公表>

4 月 23 日に ALPS 処理水放出口の北側約 4km で採取されたヒラメ及び同放出口の南側約 5km で採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（7.3 ベクレル/kg 未満）であることを確認しました。

（水産庁）

<4 月 23 日公表>

4 月 22 日に ALPS 処理水放出口の北側約 4km で採取されたヒラメ及び同放出口の南側約 5km で採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（8.8 ベクレル/kg 未満）であることを確認しました。

（水産庁）

<4 月 21 日公表>

4 月 18 日に ALPS 処理水放出口の北側約 4km で採取されたヒラメ及び同放出口の南側約 5km で採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（7.9 ベクレル/kg 未満）であることを確認しました。

（水産庁）

<4 月 18 日公表>

4 月 17 日に ALPS 処理水放出口の北側約 4km で採取されたヒラメ及び同放出口の南側約 5km で採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（8.2 ベクレル/kg 未満）であることを確認しました。

（水産庁）

<4 月 16 日公表>

4月13日にALPS処理水放出口の北側約4kmで採取されたヒラメ及び同放出口の南側約5kmで採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（7.8ベクレル/kg未満）であることを確認しました。
（水産庁）

<4月14日公表>

4月11日にALPS処理水放出口の北側約4kmで採取されたヒラメ及び同放出口の南側約5kmで採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（8.3ベクレル/kg未満）であることを確認しました。
（水産庁）

<4月8日公表>

4月7日にALPS処理水放出口の北側約4kmで採取されたヒラメ及び同放出口の南側約5kmで採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（8.3ベクレル/kg未満）であることを確認しました。
（水産庁）

<4月3日公表>

4月2日にALPS処理水放出口の北側約4kmで採取されたヒラメ及び同放出口の南側約5kmで採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（8.3ベクレル/kg未満）であることを確認しました。
（水産庁）

以上

[（水産庁）2025年度第1四半期の先頭へ](#)

[各機関における過去の迅速測定結果の先頭へ](#)

[本文書の先頭へ](#)

福島県の迅速測定結果（2024 年度第 4 四半期）

[これ以前の四半期毎の過去データはこちら](#)

【海水】

<4 月 23 日公表>

4 月 22 日（火）採水：全 9 測点で検出下限値未満（3.8～4.2Bq/L 未満）であり、人や環境への影響がないレベルであることを確認しました。（福島県）

<4 月 22 日公表>

4 月 18 日（金）採水：全 9 測点で検出下限値未満（3.7～4.4Bq/L 未満）であり、人や環境への影響がないレベルであることを確認しました。（福島県）

<4 月 14 日公表>

4 月 11 日（金）採水：全 9 測点で検出下限値未満（3.8～4.0Bq/L 未満）であり、人や環境への影響がないレベルであることを確認しました。（福島県）

以上

[（福島県）2025 年度第 1 四半期の先頭へ](#)

[各機関における過去の迅速測定結果の先頭へ](#)

[本文書の先頭へ](#)